

## 宮城県南三陸町の施設に福祉専門職を派遣しています

社会福祉施設経営者協議会では、南三陸町の「デイサービスセンターうたつ」に二人一組の福祉ボランティアを交代で派遣しています。

第1陣は、特別養護老人ホーム「清谿(せいけい)園」の介護福祉士、加治木徹也さんと永里真一さんで、7月19日から28日までセンターに寝泊まりしながら介護を手助けしました。

この支援は、今のところ10月6日までの予定で、「清谿園」に続き、これまで「デイサービスセンターさざんか園」「にじの郷たにやま」「はっぴー園」「さつま園」が、各2名ずつの職員を派遣しました。9月5日から「やすらぎの里」「賀寿園」「鹿屋長寿園」が続きます。

「うたつ」は、今回の災害により職員が約半数に減ったため十分な介護ができなくなったことから派遣を要請してきたものです。派遣する職員はそれぞれが資格を持つなどの経験者で、着任したその日から食事や入浴の介助、送迎の付き添いなどかねての業務と同じように従事しています。世話をしながらの会話では、鹿児島島の暖かさや桜島の噴火の話などをしたりして交流を深めており、それぞれ10日間の日程が終了し施設を後にする際は、親しくなったお年寄りが名残が惜しいと涙ぐまれるとのことでした。

今回の派遣は、同協議会が被災施設の業務をボランティア方式で支援しようと、さる7月上旬に県社協と合同で調査団を派遣して、各施設を訪問し各協議会役員とも協議してニーズの把握に努めた結果によるものです。

伊東安男会長は、「経営協として組織だって派遣するのは全国でも珍しく、社会福祉法人による社会貢献の一例となるもので、今後についても被災地のニーズに応じた支援を心がけたい」と話しています。



引継ぎを済ませた「清谿園(左)」と「さざんか園(右)」の派遣職員。中央は伊東会長

## 第60回鹿児島県児童福祉施設球技大会

### 県内の児童養護施設の選手達が桜島で熱戦を繰り広げる!!

輝く青空の下、60回目の節目となる「鹿児島県児童福祉施設球技大会」が7月21日・22日の2日間にわたり、桜島総合体育館・溶岩グラウンド・小野公園野球場で熱戦が繰り広げられました。

県内の児童養護施設から選抜軟式野球11チーム、親睦野球4チーム及び選抜バレーボール8チーム、親睦バレーボール4チームが集い、開会式では、選手の代表2名から東日本大震災の被災者にプレーを通じて元気が届けられるよう、最後まであきらめずに頑張ると力強く選手宣誓がありました。

試合は、どのチームも選手達が今までの練習の成果を遺憾なく発揮し、コート・グラウンドの中で随所に好セーブ、ファインプレーが繰り返され、期待通りの一球一打の好ゲームが展開された素晴らしい大会でした。

特に選抜軟式野球の準決勝・決勝戦の3試合は1点を争う接戦となりました。

なお、選抜軟式野球と選抜バレーボールの優勝・準優勝チームは、8月17日から長崎県で開催された九州大会に鹿児島県代表として出場しました。



#### 軟式野球の部

選抜 ★優勝 白百合の寮  
★準優勝 若葉学園

親睦 ★優勝 白百合の寮  
★準優勝 たらちね学園

#### バレーボールの部

選抜 ★優勝 大村報徳学園  
★準優勝 慈恵学園

親睦 ★優勝 仁風学園  
★準優勝 三州原学園

#### 九州大会速報!!

男子:軟式野球の部

★優勝 白百合の寮  
★準優勝 若葉学園

女子:バレーボールの部

★準優勝 大村報徳学園